



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社KYORITSU 上場取引所 東
コード番号 7795 URL <https://www.kyoritsu-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 景山 豊
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 田坂 優英 (TEL) 03-5248-5550
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	31,773	7.9	991	21.6	926	22.5	966	132.8
2025年3月期第3四半期	29,460	0.0	815	△32.9	756	△33.6	415	△37.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 585百万円(135.7%) 2025年3月期第3四半期 248百万円(△66.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	22.55	—
2025年3月期第3四半期	9.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	42,703	17,604	41.2
2025年3月期	42,270	17,643	41.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 17,604百万円 2025年3月期 17,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	3.50	—	4.00	7.50
2026年3月期	—	4.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,300	4.8	1,510	20.9	1,440	25.7	1,100	53.7	25.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	49,235,000株	2025年3月期	49,235,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	7,106,550株	2025年3月期	5,556,550株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	42,868,450株	2025年3月期3Q	43,738,450株

(注) 当社は、2026年3月期第3四半期より「株式給付信託 (J-ESOP)」を導入しております。株式給付信託 (J-ESOP) が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、個人消費の持ち直しやインバウンド需要など回復基調にあるものの、世界的なエネルギー価格の高騰や円安基調を背景とした原材料価格の上昇、人手不足による人件費の増加など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下にあつて当社グループは、主力であるプリントメディア事業において印刷市場全体の縮小傾向が続くなか、大ロット・短納期生産体制に加え、品質管理の徹底に努めることで受注量を確保しつつ、内製化を進めることで利益率向上に努めております。また成長事業と位置付けている情報デジタル事業や環境事業におきましては、多様なグループ会社によるシナジー効果創出を図るとともに、引き続き、M&Aによる事業領域の拡大にも積極的に取り組んでおります。BPO事業につきましては、小売店舗の消耗資材取り扱いをシステム化することで顧客の利便性を強化しつつ、多様な施設との取引開始に向けて取り扱い品目の拡大に製造メーカーとの協業を進めております。今後も引き続き、グループ全体のシナジーを高めつつ設備投資やM&Aにより事業拡大に努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が前年同四半期と比べ23億1千2百万円（7.9%）増収の317億7千3百万円、営業利益は1億7千6百万円（21.6%）増益の9億9千1百万円、経常利益は1億6千9百万円（22.5%）増益の9億2千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億5千1百万円（132.8%）増益の9億6千6百万円になりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①情報デジタル事業

当期も引き続き、多業種の顧客に対して個人情報関連のダイレクトメール媒体の営業活動を強化しつつ、M&AによってWEB広告会社をグループ会社化したことで、テレビや新聞、ラジオなどのマス媒体広告など一連の販促媒体を一括して提案できる体制を整えました。購買履歴やマーケティング分析を活用したダイレクトメールは、引き続き需要が高く好調に推移しており、売上高は、79億4百万円（前年同期比20億6千4百万円増収）、セグメント利益は4億7千5百万円（前年同期比2千1百万円増益）になりました。

②プリントメディア事業

印刷市場の縮小基調は継続する中、当社グループでは大量の印刷物を短納期・高品質で対応可能な生産体制を構築することで受注量確保に努めております。また前期に比べて生産性向上を図り内製化の促進を強化したことにより、売上高は、218億7千9百万円（前年同期比3億2千8百万円減収）、セグメント利益は6億1千7百万円（前年同期比1億2千5百万円増益）になりました。引き続き、内製化率の向上を図りつつ、新規取引先や新規媒体の獲得に向けて営業活動を強化してまいります。

③環境事業

当期10月より札幌にある産業廃棄物処理会社をグループ化することで全国リサイクルネットワークを構築しつつ、擬木などのマテリアルリサイクルや生分解性プラスチックの拡販に向けて営業活動を強化しております。また、RPF燃料のサーマルリサイクル設備においては、生産性向上のため老朽化した設備の更新などにも努めたことで、売上高は、12億8千2百万円（前年同期比2億2千4百万円増収）、セグメント利益は1億5千8百万円（前年同期比3千6百万円増益）になりました。

④BPO事業

小売店舗で使用する消耗資材の保管発送業務において、取り扱い店舗の拡大と顧客が使用する発注システムの利便性を高めることで、売上高は、7億7百万円（前年同期比3億5千1百万円増収）、セグメント利益は6千5百万円（前年同期比6千2百万円増益）になりました。今後はさらに、既存倉庫とグループの販売ネットワークを活かした保管発送業務の営業活動を強化してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、197億2千8百万円となりました。これは、現金及び預金、電子記録債権が増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、229億7千4百万円となりました。これは、建物及び構築物やリース資産を償却したものの、株式取得によりおれんが増加したことなどによります。

これらの結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、427億3百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、145億5千1百万円となりました。これは、リース債務が減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4.8%増加し、105億4千7百万円となりました。これは、リース債務が減少したものの長期借入金が増加したことなどによります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、250億9千8百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、176億4百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したものの自己株式の増加やその他有価証券評価差額金が減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、利益率の高い情報デジタル事業と環境事業において適切な設備投資と積極的なM&Aに取り組むとともに、プリントメディア事業において売上高及び営業利益の維持と、BPO事業における既存倉庫を活用した保管発送業務の受注促進に努めることで企業価値向上に取り組んでまいります。

2026年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高423億円、営業利益15億1千万円、経常利益14億4千万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,222,899	9,408,220
受取手形	474,832	126,617
売掛金	6,524,990	6,592,287
電子記録債権	1,343,308	1,612,781
棚卸資産	1,138,443	1,284,807
その他	656,816	735,885
貸倒引当金	△31,319	△32,228
流動資産合計	19,329,971	19,728,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,784,769	5,609,575
土地	7,421,209	7,533,453
リース資産（純額）	1,387,196	1,125,363
その他（純額）	2,274,654	2,417,780
有形固定資産合計	16,867,831	16,686,174
無形固定資産		
のれん	1,286,081	2,158,836
その他	206,296	206,574
無形固定資産合計	1,492,378	2,365,411
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	10,853	34,700
その他	4,610,796	3,928,226
貸倒引当金	△41,798	△39,789
投資その他の資産合計	4,579,851	3,923,137
固定資産合計	22,940,061	22,974,723
繰延資産	106	58
資産合計	42,270,139	42,703,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,609,105	3,603,033
電子記録債務	3,814,423	4,004,129
1年内返済予定の長期借入金	4,299,937	4,703,952
リース債務	499,543	398,312
未払法人税等	372,853	373,718
賞与引当金	202,118	116,161
その他	1,763,474	1,351,860
流動負債合計	14,561,455	14,551,169
固定負債		
長期借入金	7,859,482	8,629,898
リース債務	1,116,355	911,459
繰延税金負債	118,558	40,416
退職給付に係る負債	903,411	891,364
資産除去債務	37,179	37,692
その他	30,353	36,983
固定負債合計	10,065,340	10,547,813
負債合計	24,626,795	25,098,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,393,842	3,393,842
資本剰余金	3,394,528	3,394,528
利益剰余金	10,748,252	11,369,578
自己株式	△1,008,080	△1,287,330
株主資本合計	16,528,542	16,870,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,051,771	669,440
退職給付に係る調整累計額	63,028	64,111
その他の包括利益累計額合計	1,114,800	733,552
純資産合計	17,643,343	17,604,171
負債純資産合計	42,270,139	42,703,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	29,460,706	31,773,587
売上原価	26,206,615	28,003,675
売上総利益	3,254,090	3,769,912
販売費及び一般管理費	2,438,580	2,778,189
営業利益	815,509	991,722
営業外収益		
受取配当金	50,908	74,042
その他	18,195	21,608
営業外収益合計	69,104	95,650
営業外費用		
支払利息	121,637	147,723
その他	6,657	13,519
営業外費用合計	128,295	161,243
経常利益	756,318	926,130
特別利益		
固定資産売却益	25,580	1,445
投資有価証券売却益	—	966,655
その他	1,731	—
特別利益合計	27,311	968,100
特別損失		
固定資産除却損	3,967	80,781
投資有価証券評価損	4,912	—
減損損失	37,468	167,423
その他	1,475	22,679
特別損失合計	47,823	270,883
税金等調整前四半期純利益	735,806	1,623,347
法人税等	319,614	656,593
四半期純利益	416,191	966,753
非支配株主に帰属する四半期純利益	936	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	415,255	966,753

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	416,191	966,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173,076	△382,330
退職給付に係る調整額	5,311	1,082
その他の包括利益合計	△167,765	△381,248
四半期包括利益	248,426	585,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,490	585,505
非支配株主に係る四半期包括利益	936	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,120,774千円	1,078,470千円
のれんの償却額	103,118千円	151,430千円

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	情報デジタル 事業	プリントメ ディア事業	環境事業	BP0事業	合計		
売上高							
顧客との契約か ら生じる収益	5,840,544	22,207,202	1,057,669	356,288	29,460,706	—	29,460,706
外部顧客への売 上高	5,839,545	22,207,202	1,057,669	356,288	29,460,706	—	29,460,706
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	999	—	28,793	—	29,792	△29,792	—
計	5,840,544	22,207,202	1,086,462	356,288	29,490,498	△29,792	29,460,706
セグメント利益	454,283	491,821	122,073	3,446	1,071,625	△256,115	815,509

(注) 1. セグメント利益の調整額△256,115千円は、全社収益181,197千円、のれん償却額△103,118千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△334,194千円が含まれています。なお、全社収益はグループ会社からの経営指導料等であり、全社費用は当社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	情報デジタル 事業	プリントメ ディア事業	環境事業	BP0事業	合計		
売上高							
顧客との契約か ら生じる収益	7,904,044	21,879,162	1,282,555	707,825	31,773,587	—	31,773,587
外部顧客への売 上高	7,904,044	21,879,162	1,282,555	707,825	31,773,587	—	31,773,587
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	732	—	17,584	—	18,317	△18,317	—
計	7,904,777	21,879,162	1,300,140	707,825	31,791,905	△18,317	31,773,587
セグメント利益	475,755	617,666	158,762	65,940	1,318,124	△326,401	991,722

(注) 1. セグメント利益の調整額△326,401千円は、全社収益196,430千円、のれん償却額△151,430千円、子会社の取得関連費用△122,761千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△248,640千円が含まれています。なお、全社収益はグループ会社からの経営指導料等であり、全社費用は当社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。